

第7号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3
 ■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

“ウイズコロナ”の中での活動情報やご提言は、市自公連の事業内容や情報発信の在り方に対しても多くの教訓と課題を頂いたとありがたく受けて止めております。公民館活動に日々携わる館長・主事やサークルの責任者などへの的確で細やかなガイドラインの提案や、各公民館の非常時における対応情報の共有などが求められる一方で、非常事態下における地域ネットワークの維持方策の一つとして、オンライン公民館（オンライン会議・講座、動画配信）など、新たな活動形態の具体化の必要性にも迫られました。今年度も脱コロナ禍への光明が見通せない中での公民館活動となることは必至の現況です。市自公連としては、先に緊急事態宣言中の公民館休館をお願ひしましたようなご協力を得ながら、皆様と連携してこの難関を乗り越え、事業計画を全うしたいと考えております。本年度も、ご支援とご提案を市自公連へお寄せいただきますようお願い申し上げます。

コロナに負けない対策を!

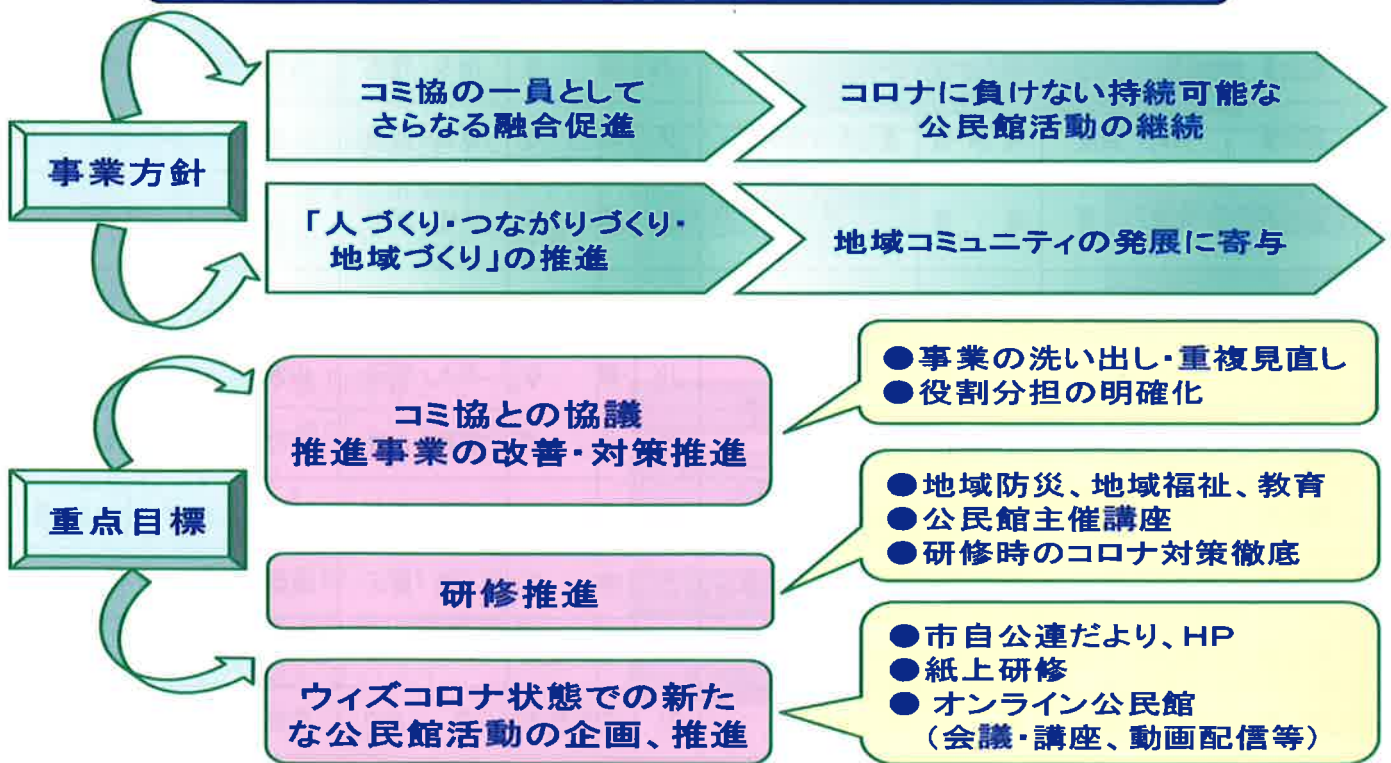
令和2年度の市自公連活動は、コロナ禍の影響を大きく被り、総会を書面議決としたのははじめ、事業計画は、一部を除いて集合形式での開催を中止しましたが、推進大会や各種研修などの主要事業は、紙上開催あるいは資料配布などにより情報を共有することができました。これは、コロナ禍中の活動困難な状況にもかかわらず“アンケート”や提言などを通して呼応いただいた公民館長・主事・コミ協関係者などの皆様のご協力によるものであり、深くお礼を申し上げます。

【役員のことば】



筑紫野市自治公民館
連絡協議会 会長
中野 二郎
(松ヶ浦公民館 館長)

令和3年度市自公連事業方針・重点目標



令和3年度自公連定期総会「書面議決集約の結果報告」

■市自公連では、5月15日（土）に定期総会開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会議案の提案を「書面表決書」で採決することとしました。皆様には、書面での議決にご協力いただきましてありがとうございました。

■令和3年度自公連定期総会書面議決結果

【書面表決者】 142名



会員数171名に対し、書面表決者142名分が集まりましたので、総会成立条件である過半数以上の出席者（書面表決者を出席者とみなす）を満たす

結果となりました。そして、すべての議案について142名の方全員から賛成をいただき、可決されましたことを報告いたします。

コロナ禍行動自粛中ですが、5月13日、感染予防対策を徹底の上、臨時役員会を開催（写真掲載）し、書面表決書の集約結果を精査・確認いたしました。

令和3年度筑紫野市自治公民館連絡協議会 役員・理事等一覧

	役職名	氏名	地区	備考		役職名	氏名	地区	備考
1	会長	中野 二郎	二日市	松ヶ浦館長	13	理事	宮本 元美	筑紫	岡田主事
2	副会長	平嶋 人美	山家	山家6区館長	14	理事	山内 真由美	筑紫南	原田主事
3	副会長	林 頼信	御笠	牛島館長	15	参与	楠木 理恵	筑紫野市生涯学習課長	
4	副会長	河野 裕俊	筑紫南	美しが丘南館長	16	参与	飯笹 能彦	二日市コミュニティセンター館長	
5	副会長	藤本 進	筑紫	筑紫地区自治公民館部会長	17	参与	平嶋 廣幸	二日市東コミュニティセンター館長	
6	事務局長	宮崎 隆	二日市東	東新町館長	18	参与	田中 哲也	山口コミュニティセンター館長	
7	会計	石内 傳治	山口	山口館長	19	参与	石丸 明彦	山家コミュニティセンター館長	
8	理事	尾上 登士夫	二日市	天拝坂主事	20	参与	銀島 由貴	御笠コミュニティセンター館長	
9	理事	中島 紀美子	二日市東	朝倉街道団地主事	21	参与	江崎 雅彦	筑紫コミュニティセンター館長	
10	理事	唐川 茂樹	山口	むさしヶ丘主事	22	参与	小島 康正	筑紫南コミュニティセンター館長	
11	理事	小山田 政宏	山家	山家3区主事	23	会計監査	平野 修	二日市東	紫ヶ丘主事
12	理事	市川 勘一	御笠	西吉木主事	24	会計監査	森 政之	筑紫南	美しが丘主事

コミュニティ運営協議会活動（シリーズ7）



二日市東コミュニティ運営協議会
会長 宮崎 武

二日市東コミュニティ運営協議会は、二日市地区の6行政区と山口地区の7行政区で平成26年12月の設立。平成30年には二日市東地域のまちづくり計画を策定し、「みんな笑顔でつながる安心のまち」をスローガンとして掲げ、13行政区の自治会、公民館及び交流部会、防犯・防災部会、子ども育成部会、健康・福祉部会の4部会が連携して事業活動を実施してまいりました。特に、区域内の公民館や二日市東コミセン利用団体の日頃の学習成果を発揮していただくために「コミュニティ文化祭」を公民館長及び主事が主体となり開催しており、毎回盛会に終わっているところです。

しかし、昨年から新型コロナウイルス感染が収まることなく昨年度の事業計画の大半は、中止もしくは延期となりました。未だ感染拡大には予断を許さぬ状況が続きますが、今後も防災・福祉・教育に関する課題の解決に向け、協議会の運営をしてまいります。

令和3年度においては、重点目標の「地域包括ケアシステム」の構築に向けて自治会長会、自公連、民生委員・児童委員、福祉委員、その他関係部署からの協力をいただいております。高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるように、見守りや、生活支援など、無理なく、継続して実行出来る事をめざして進めてまいります。



自治公民館連絡協議会主催の研修について

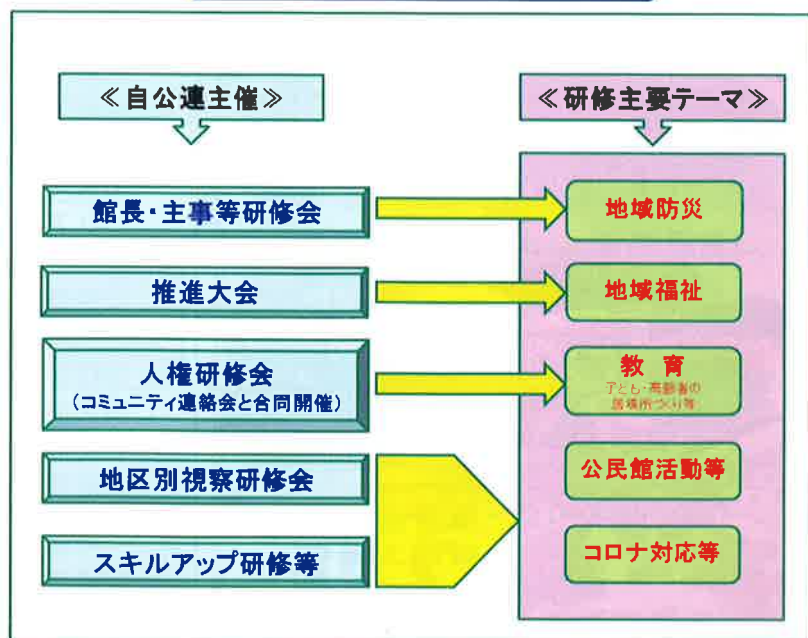
自公連の研修会には、自公連が主催するものと、国・県等が主催するものがあります。自公連主催の研修会は、各地区の公民館活動の推進リーダーである自治公民館の館長・主事を対象に実施しています。その目的は、館長・主事が推進する公民館活動の参考になる情報の提供・共有化・意見交換等を通じて、地域の公民館活動を活性化し、コミュニティの推進に寄与することです。

自公連が主催する研修会は、3つの主要なテーマ「地域防災、地域福祉、教育（子どもや高齢者の居場所づくり）」を中心に、各々「館長・主事等研修会」「推進大会」「人権研修会」の中で実施しています。

自公連主催の研修会は、自治公民館の館長・主事全員を参加対象としていますが、その他に各地区コミ協の関係者も参加しています。

研修内容は、参加者が地域に持ち帰って、各々の活動に反映していただくとともに、自公連だより等で情報を共有するように取り組んでいます。

自公連主催の研修



公民館紹介 松ヶ浦公民館

松ヶ浦区は、二日市中学校の東側に隣接した丘陵にある世帯数 230 余の住宅地域で、同校の校歌の中に「理想の丘を眺むれば生氣溢る松ヶ浦」の一節があります。区は、1961（昭 36）年 10 月に福岡県営松ヶ浦住宅として発足しその後、数次にわたる払い下げにより現在の街並みとなりました。松ヶ浦公民館は、区発足時の県の施設「松ヶ浦集会所」が前身で、手狭さを増改築・建て替えでしのいできましたが、大型マンション建設に伴う世帯数の激増には対応できず、令和 2 年度事業として移設を計画し、令和 3 年 3 月末、旧館から 100m ほど北側の現在地に新公民館が誕生しました。公民館建設を進める過程では様々な困難と向き合いましたが、行政をはじめ町内の建築専門家など有識者による的確な助言や、多くの方々の提案に支えられ、何とか解決策を見だし、竣工にこぎ着けたことを感謝しております。一連の事業が結了した今日も“コミュニティ再編”という重要課題が残されていますが、幅広い年代層で新公民館への関心度が高く、活動の多様化と幅の広がりがあり、公民館を地域の生涯学習・防災・福祉の新しい拠点として根付かせるために、新しい力を結集したいと考えています。

松ヶ浦公民館 館長 中野二郎



（公民館の後ろは「マークシティ二日市」）



（公民館に隣接した公園）



（2F 集会室）



公民館紹介 宮の森公民館

宮の森は太宰府市と筑紫野市の市境に位置し、太宰府天満宮、九州国立博物館に隣接、北東に宝満山の頂を望む、自然と歴史文化に恵まれた地域です。現在 455 世帯、1,183 人の住民が生活しております。宮の森団地は昭和 47 年に開発され、公民館は昭和 53 年に建設されました。42 年が経過し老朽化と人口増加で手狭となり又、昨今大きな災害も多くなったことで、住民より公民館立替の機運が高まり、令和元年に公民館新築建て替えに着手し、令和 3 年 4 月に落成致しました。筑紫野市を始め多くの皆様のおかげと感謝いたしております。新公民館の特徴の一部を紹介させていただきます。

- ①人にやさしい施設……バリアフリー、手すりも完備、バリアフリースイッチ設置、収納機能システムですっきり広い空間を実現しました。
- ②全世代型の施設……厨房を広く調理機能充実、音響や通信 IT 機能も完備し、お年寄りから若い方まで全世代が行きたくする施設になりました。
- ③お洒落な空間……館内に談話室、東側にテラスを設置し交流の増加が期待でき、テラスは、公園との一体化でお洒落な空間となります。

今後、公民館コミュニティ事業を強化拡大し、地域の活性化に寄与していきたいと思っております。

宮の森公民館 館長 野澤 ユウ子・主事 三笥 明美